報徳@なう
８月号

39団体に約10tの食品提供！

新型コロナ禍で駆け込んで来る個人も増加

皆さんお元気ですか。

私ども、ＮＰＯ法人報徳食品支援センターは、昨年十二月二十五日に発足しました。おかげさまで私が夢に描いていた「フードバンク」が実現しつつあります。

皆さまのご協力と多くの友人からの紹介で現在会員は、六十三名となりました。今年８月末までには会員を百名にしたいと努力をしています。

私どもは、２市８町の皆さんに支援をさせていただき、多くの人達のお手伝いをしたいと思っております。

【理事長　田嶋　享】



「会員数１００名を目指す」と語る田嶋 享。

新型コロナ禍で箱根の観光産業が壊滅的な状態に：食品支援を実施

当ＮＰＯは、発足以来半年が過ぎました。この間に新型コロナ禍によって、フードバンクを取り巻く環境も大きく変化し、生まれたばかりの報徳食品支援センターも多忙な毎日を過ごしております。

特に小田原・箱根などの観光地が壊滅状態となり、大勢の人たちが職を失ったり、収入が大きく減りました。小田原と足柄下郡の就業者数約十六万人の内、観光産業に従事していた人は２万人を占めていたので、地域経済に与える影響も大きいと推定されます。

特に、パートの収入で生活を支えていた母子家庭の方々で困窮状態に陥った方が大勢おられます。

私どもは、小田原市母子寡婦福祉会はじめ２市８町のいくつかの社会福祉協議会と協力して、母子家庭の皆様への支援を行っています。

また、社会福祉協議会の緊急小口資金融資制度の相談に来られた方で、お金が尽き果てた方がおられて社協さんが食品を渡されたケースが相次ぎ、その食品の提供もさせていただきました。

緊急宣言解除後徐々に箱根にもお客さんが戻って来て、以前の２～３割までになってと言われた矢先に、観光振興のＧｏＴｏ政策も東京都民は対象外とされてしまい、まだまだ苦難の道は続きそうです。

一方、この４月以降はコロナで学校給食は中止され、ホテルやレストランが休業し、飛行機も飛ばなくなったために、販路を失った食品や飲料が大量にフードバンクに提供されました。

私どもの所にも学校給食用のロングライフ牛乳、機内サービス用のジュースやお茶、ビール工場見学者が試飲する時のおつまみなどがたくさん届き、支援の食品に加える事ができました。

まだまだ、食品の支援が必要とされる方は大勢おられます。我々の活動が持続できるように支援の食品の調達、資金の確保などの体制を整えて行こうとしております。どうか、ご支援のほどをよろしくお願いいたします。

【副理事長　本岡俊郎】



６月１４日に西大友の報徳食品支援センターで行われたフードバンク活動。小田原母子寡婦福祉会、小田原市社協のスタッフにねぎらいの言葉をかける田嶋享。

●報徳食品支援センターニュースレター「報徳@なう」
Vol.01 / No.001
●発行所
ＮＰＯ法人 報徳食品支援センター
●発行人：田嶋　享
●編集人：本岡俊郎
●編　集：千葉哲也
●電　話：０９０－３１０７－６４７７
http://小田原報徳フードバンク.com

４月～７月の実績

１、集めた食品　合計 12,105kg

提供企業	(kg)	提供企業	(kg)
ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾝｸかながわ	5,171	加藤靖司（玉葱農家）	250
味の素 AGF㈱	1,302	㈱ｷﾘﾝ&ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞﾝｽﾞ	246
カゴメ㈱	1,200	マルコメ味噌㈱	180
フードバンク愛知	731	カルビー㈱	172
神奈川ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾝｸ･ﾌﾟﾗｽ	552	味の素冷凍食品㈱	134
㈱サンリオ	487	東京めいらく㈱	120
㈱伊藤園	384	日本非常食推進機構	111
㈱ボーシンズジャパン	360	その他（11 件）	408
キユーピー㈱	298	合計	12,105

２、配布した施設・団体（３９か所）　合計 9.628kg

〔役場・社会福祉協議会〕	〔福祉施設・団体〕	小田原なぎさ作業所
大井町役場	豊邑会	せせらぎの杜
小田原市社会福祉協議会	なごみの家	梅香園
南足柄市社会福祉協議会	作業所ゆう	〔こども食堂〕
大井町社会福祉協議会	宝安寺社会事業部	おむすびころりん
松田町社会福祉協議会	わかば会	開成町こども食堂
箱根町社会福祉協議会	ありんこホーム	〔その他〕
真鶴町社会福祉協議会	報徳農場	報徳スポーツプラザ
湯河原町社会福祉協議会	よるべ沼代	アシガラパートナーズ
〔母子家庭支援組織〕	農業ステーション	小田原市敬老ｸﾗﾌﾞ 連合会
小田原市母子寡婦福祉会	ゆりかご園	中島幼稚園
箱根町（ひとり親支援会）	からたちハウス	個人支援（13 家族）
真鶴はまゆう会	命を守る人道支援ネットワーク	〔外国人支援組織（域外）〕
湯河原はまゆう会	あさ	Casa de Amigos（三島市）
	小田原支援センター	Ayudame a Ayudar（愛知県）
	ひつじの家	

●収支の状況

①４月～７月現在までの収入：五十七万七千円

②４月～７月現在までの支出：五十二万七千円

③中央共同募金会「赤い羽根」の助成金が決まりました。

フードバンクを対象としたコロナ禍関連の緊急助成金に応募し、２３３万円の助成金を受ける事になりました。パネル式冷凍倉庫、冷凍ストッカーなど設備の購入や、運送費等に充当します。

【事務局】

【お知らせ】

５月から新事務所に引っ越しました。国道２５５号沿、西大友交差点東側です。〒２５０－０２１２小田原市西大友１３６－１

【これからの活動予定】

●八月三日（月）から
真鶴町社会福祉協議会のフードバンク活動に食品提供（会場：真鶴町社協）

●八月六日（木）
箱根町で母子家庭への食品配布の会（箱根はまゆう会／会場：さくら館）

●八月十二日（水）
大井町で母子家庭への食品配布の会

●八月二十三日（日）
小田原市の母子家庭への食品配布の会（会場：報徳食品支援センター）

【ボランティアの募集】

当ＮＰＯをお手伝い下さるボランティアを募集しています。http://小田原報徳フードバンク.com/問い合わせ／☎０９０・３１０７・６４７７（本岡）

●編集後記

日々搬入される大量の食品。大量生産、大量消費の裏に隠れた「食品ロス」の削減に貢献しながら「食品支援」も行う醍醐味をいただく。（哲）